

用プレストレストコンクリート鋼棒・鋼線、送電用ケーブル補強線、光ファイバー用ケーブル、コンピューター用ニードルワイヤーから馴染みの深い釘・針金、ボルト・ナット類に到るまで様々な用途に用いられますが、当所では、これらに用いられる殆ど全ての線材を製造しています。とりわけ、当所で開発したスチールコード用線材における当社のシェアは、国内の53%、世界の24%を占めており、この半分以上を当所で生産しています。当所の生産量は、現在月産約34千トンであり、この内特殊線材の生産量は約6割と高い比率を占めています。また、線材が加工されて製品となるまでに、酸洗、伸線、熱処理等種々の加工が行なわれますが、これら加工工程の簡省略を可能とする線材の比率が極めて高いことも大きな特徴です。

一方、製鐵所の人・土地・建物を活用した新規事業展開では、誘致企業として、建築鉄骨加工業、空気圧制御品製造業、飼料コンビナート、海洋バイオ研究所、スチール家具製造業等が操業を開始しました。又、当所で育成・分社化した事業では、情報通信、食品、医療の分野があり、さらに、当所の直営事業では、精密鑄造、改質木材等の事業化に鋭意取り組んでいます。これら新規事業群の雇用創出数は、2,100名を超えるに到っており、当所の産業構造も大きく変化し、複合事業所への転換が着実に実現しつつあります。

5・4 Uコラムの日鐵建材工業株式会社 仙台製造所

浅野 牧 夫
(所 長)

仙台港に面したひととき目立つ赤い屋根と黄色い壁の大きな工場、それが日鐵建材工業株式会社仙台製造所です。今、殆どの鉄骨造の建物の柱には大きな角形鋼管が使われています。その大きな角形鋼管、即ちUコラムを仙台で生産開始して丸15年、それまで柱は全てH形鋼だったのに仙台の工場が稼働してからは全国的に鉄骨造の建物の柱はコラムに変わりました。例えば、仙台の七夕で有名な中央通りのアーケードが最近新装してきれいになったのですが、その両側の柱には当社のUコラムが使われています。その後、沢山の競争会社がコラムの生産をはじめていますが、品質も量も仙台で生産している日鐵建材のUコラムが日本一であると自負しています。北は北海道から南は九州まで全国の需要家に仙台からUコラムをお届けし、愛用されています。

更に、同じく鉄骨造の建物に使われる合成床板スーパーEデッキも併せて最近生産開始しました。その複雑な断面形状は当社の高度な技術によりはじめて生産可能になりました。そのデッキは性能の良さと使い易さ、良い品質そしてコンピューターを駆使して可能になった高いレベルのデ

ザバイリーが好評で順調に売上を伸ばしています。

自動化が進んでいる為、従業員はわずか100人足らずです。製造所は広い芝生と15年間で育った木々が良く調和して、素晴らしい環境です。雉の親子も登場しています。テニスコートは2面あり、そのうち1面は夜間もプレー可能です。工場の中の環境も抜群です。騒音に関しては鉄鋼業としては考えられない程静かです。また、安全対策の為に床面や設備をきれいにするように努力を続け、高い評価を得ています。

仙台にて冷間ロール成形技術を高度に駆使して本格的な生産をしている企業は当社以外には少ないです。当社は東京大学生産技術研究所と長い間、冷間ロール成形の基礎的な研究を続けて来ました。最近では冷間ロール成形のコンピューター汎用シミュレーターの開発もやっており、その分野ではトップレベルにある、と自負しています。

黄色い壁と赤い屋根の工場はその配色を決める時、暖かさを重視しました。建材製品を生産する工場としては規模が大きく、環境も抜群の仙台製造所は日鐵建材工業株式会社の中核工場として、地域の振興にも寄与する工場として、今後ともおおいに活躍します。

5・5 東北スチール株式会社

才 野 光 男
(社 長)

当社は、昭和44年1月に神奈川県藤沢市にある高級ネジメーカー東京螺子株式会社の棒鋼圧延部門が、藤沢製鋼株式会社の社名で独立し、鉄筋コンクリート用棒鋼の単圧メーカーとしてスタートした。

昭和48年2月には、川崎製鉄株式会社グループの資本参加を受け、その系列に入った。

昭和48年5月から、昭和51年12月にかけて、宮城県仙台市の新港に電気炉から棒鋼圧延までの生産能力月産30,000tの鉄筋コンクリート棒鋼一貫工場を設置するとともに、藤沢工場は廃止し、本社も仙台に移した。

その後、昭和60年9月に現在の「東北スチール株式会社」に社名変更し、昭和61年9月には鉄筋コンクリート用棒鋼に加え、普通線材の生産を開始し、鉄筋コンクリート用棒鋼と線材の製品二本柱による月産35,000t体制を確立し現在に至っている。

会社の概要を紹介すると、

- (1)資本金 3億円
- (2)従業員 160名 (他下請80名)
- (3)敷地面積 143,000㎡
- (4)製品 鉄筋コンクリート用棒鋼 D10~41
普通線材 5.5~12φ

(用途：主としてメッシュ材、コンクリート用セパレート材、ボルト等)

(5)能力 35,000 t / 月 (棒鋼30,000t / 月、線材5,000 t / 月)

設備については、昭和63年より平成3年にかけて、製鋼工場の合理化更新工事を完了し、従来の40T電気炉(2基)+3ストランド連铸機(2基)より、50TEBT電気炉(1基)+4ストランド連铸機(1基)にし、現在圧延工場の合理化工事を推進中である。

(6)設備 電気炉 1基 50TEBT電気炉(N₂底吹き)

連铸機 1基 120角、4ストランド、全湾曲型、スプレーモールド

加熱炉 1基 80 t / H、上下部5帯式連続加熱炉

圧延機 20基 水平式連続圧延機、2ストランド(粗、中間ロールカリバーレス圧延)

(棒鋼、線材兼用)

冷却床 1基 長さ90m、巾12m、レッペン式

棒鋼精整設備 1式 自動小結束機6基
自動大結束機2基

線材仕上圧延機 8基 水平式連続圧延機、2ストランド

線材精整設備 1式 ステルモアコンベア、コイルコンベア、フックキャリア

売上げは200億円 / 年弱で東北地区の地場産業として定着し、地区の建築土木業界に製品を供給しつつけている。ブランドマークはTHとして広く知られ、高品質で安定した製品との評価も高く、今後共東北地区の一層の発展のために尽力して行く所存です。

5・6 東京鐵鋼株 八戸事業所

上 杉 庸 雄
(取締役所長)

当社は、鉄スクラップを主原料に主に建設用棒鋼を生産し、建築業界に供給している電炉メーカーです。

以下に、活動状況・規模等の会社内容を紹介します。
生産設備……

八戸事業所は、昭和48年に青森県の誘致企業として、八戸港を臨む臨海工業地帯に建設されました。敷地面積は、276,000㎡、粗鋼生産能力は月産36,000 t の生産能力を持っております。

設備は70 t 電気炉1基、連続铸造設備1基、圧延設備1

基です。

また、平成2年10月に、日本の電炉メーカーとして初めてドイツ・リンデマン社から最新鋭のシュレッダーマシンを導入し、廃車等の処理を行い、鉄資源のリサイクル化、及び環境問題に積極的に取組むとともに、原料の安定供給、品質向上を図っております。

主要製品……

当社で生産している棒鋼「トーテツコン」の特長は一つの建築物に必要とされるあらゆる品種、サイズの棒鋼を即時に取り揃えられる品数の豊富さと品質の良さにあります。

また、当社の技術力を結集させ、開発した商品に「新・鉄筋建方システム」があります。

これは工事の省力化や工期の大巾短縮を可能にした建築工法で当社が独自に開発した製品から構成されており、今後、当社が進む高付加価値路線の主力になっております。

三つの新部材、すなわち、

①ナットやカプラーをつかってジョイントできる高張力ネジ付棒鋼「ネジテツコン」

②リング状に溶接されたフープ・スターラップ用の鉄筋「パワーリング」

③各種配管などのための有孔梁用の開口部補強筋「パワーレン」による鉄筋施工が、「新・鉄筋建方システム」です。

労働環境整備と人材の育成……

当社は「人間重視の企業経営」を企業理念として掲げ現在、全社をあげて展開中です。

労働環境整備については、社員のニーズに応えたオフィス、厚生施設、トイレ、休憩室、道路他の一新、及び緑化の推進等、オフィス環境や工場環境の整備を実施しております。

また、人材育成の取組として一人、一人の働く人間に焦点を当てた、「TTK能力開発システム」を導入し誰でも応募、参加できる海外研修制度(年間5回)の実施、社員の資格取得には全面的な会社の援助、取得者には報奨金を与える公的資格の取得奨励制度など、自己啓発のためのバックアップを図っています。

その他、個々人のレベルアップをねらった専門職研修、海外留学、国内留学、異業種派遣、技術者育成のための社内外教育等を実施しております。

今後、当社は「21世紀に向けて新しい都市づくり」をテーマに、さらに建築業界が求めている施行の簡素化、工期の短縮などのニーズを可能にする高付加価値商品づくりに傾注し、単なる素材メーカーとしてだけでなく、ソフトも提供する企業へと転換していきます。

会社概要

設 立 昭和14年6月